

あなたに伝えたい！ 第二次 上津役思いやりプラン

令和4年3月22日
上津役校区小地域福祉活動第二次計画（概要版）

上津役校区社会福祉協議会 作成・編集
〒807-0071 北九州市八幡西区上の原2丁目2番16号
上津役市民センター内 TEL.&FAX.: 093-612-3568

上津役校区は、誰もが住み慣れたところで安心して生活できる「ふれあい」と「支え合い」のまちにしたいと願っています。そこで、平成27年に住民一人ひとりの安全、安心な暮らしを守るため「みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり」を基本理念と定め「小地域福祉活動第一次計画」通称「あなたに伝えたい！ 第一次 上津役思いやりプラン」を策定し地縁諸団体や住民各位のご協力を得て地域福祉活動に取り組んでおりますが、超高齢社会を始めとする生活環境の変化に対応する目的で「見直し委員会」を設置し、第二次計画を策定しました。引続き皆様のご協力をお願いいたします。

私たちの大切なまち“上津役”。住みやすい安全安心なこのまちにも、よ〜く見渡すといろいろな困りごとや悩みごと（課題）があります。例えば・・・

① 高齢化による健康不安と生活不安

- ・高齢者が増えた（一人暮らし、高齢者のみ世帯、認知症）。
- ・日常生活（買い物等）に困難を抱える高齢者が増えた。
- ・一人暮らしで寂しい、話し相手が欲しい。
- ・健康に不安を抱えいざというときの心配がある。
- ・介護保険制度につながらない「福祉の困窮者」が見受けられる。

② 人間関係の希薄化

- ・自治会の未加入者が増えている。
- ・近所づきあいが減っている（付き合いを嫌う、顔を知らない、情報がない等）。
- ・地域との関わりを拒む住民や閉じこもりの人が増えている。
- ・気軽に集える場所が少ない。

③ 地域福祉活動者の悩み

- ・福祉活動者（役員、福祉協力員、民生児童委員、ボランティア等）が高齢化している。また、なり手が少ない。
- ・若い年代の福祉活動への参加、協力が得られにくい。
- ・地域の活動や行事などが住民に知られていない。
- ・課題を抱える高齢者への対応方法や支援方法が分らない。

基本理念 ～みんなが安心して暮らせる支え合いのまちづくり～

基本目標1 楽しく学び 健康で明るく安心な地域にしよう

◆子どもから大人まで参加できるさまざまな学びの機会をとおり、次世代の地域福祉を担う人材を育てる。
◆広報誌や市社協HPを活用し住民に福祉活動が身近なことを知ってもらう。
◆健康寿命を延ばすための「健康づくり活動」や「介護予防事業」に取り組む。

【実施する主な事業、活動】

重点事業 ○ 次世代福祉協力員の発掘・育成	○ 健康づくり実行委員会、健康づくり推進員の会、市民センターとの共催行事
・住民、団体等への説明会の実施	・健康満歩会（月例ウォーキング会）
・研修事業、活動者交流会	・健康講座（フレイル予防等）
○ 社協活動・福祉情報の広報、発信	・認知症予防講座（健脳テスト等）
・広報紙、ホームページの活用	

【協働する団体、機関等】

校区社会福祉協議会
まちづくり協議会
自治区会（町内会）
民生委員児童委員協議会
シニアクラブ連合会
地域会議
青少年育成会



上津役市民センター
上津役小学校 / PTA
上津役中学校 / PTA
地域包括支援センター
行政関係機関
市社会福祉協議会
地域の老人福祉施設等
地域の企業・商店等

基本目標2 ふれあいの輪を広げ 地域の絆を深めよう

◆子どもから高齢者まで全世代が交流できる場づくりや行事等を企画、実施する。
◆「福祉の困窮者」が地域で孤立しないよう住民同士のつながりやきずなを深める。
◆「福祉の困窮者」を見落とさない「福祉のセンサー」の意識を高める。

- ・SOSを出せない人を見つけ出すよう努め励む。
- ・「福祉のセンサー」の感度を高める研修会やネットワークづくりの取組み。

【実施する主な事業、活動】

重点事業 ○ 「サロン活動」の内容向上	○ 世代間交流ふれあい福祉餅つき大会
○ 一人暮らし年長者交歓会	○ ふれあい昼食会
○ 在宅介護者の集い	○ 上津役まつり ○ 盆踊り大会

基本目標4 子どもたちを地域のみんなで育もう

将来の地域社会を担っていく子どもたちが、さまざまな喜びや感動の体験をとおり、伸びのびと健やかに成長し、生まれ育った地域への愛着や感謝の心が持てるよう、安全・安心な学びや遊びの環境を整え、地域のみんなで見守り、育てていく。

【実施する主な事業・活動】（まち協地縁団体主催の行事へ協力を行う）

○ 子育て支援	○ ソーメン流し
○ 双子・三つ子ちゃん子育て支援	○ 青少年ハイキング
○ 畑キャンプ	○ カルタ会、凧揚げ

基本目標3 思いやりの心で支え合おう

◆「ふれあいネットワーク活動」充実のため活動内容の見直し、改善を絶えず行う。
◆住民の主体的参加による支援の輪をつくり、支え合いの地域福祉活動を進める。
◆活動財源の確保と地域福祉への協力者を増やすことを目的とし、募金活動や賛助会員活動の拡充に努める。

【実施する主な事業・活動】

重点事業 ○ ふれあいネットワーク活動の再構築	○ 災害時の福祉救援体制づくり
・見守り、声かけ訪問活動（見守り）	○ 共同募金運動への協力
・連絡調整会議定期開催（話し合い）	○ 賛助会員募集活動への協力
・簡易なお手伝い活動（助け合い）	